

# I 類 心 理 専 門 問 題

令和 4 年度施行 特別区職員 I 類採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

## 注 意

- 1 問題は、番号 1 から 6 まで 6 題あり、このうち 4 題を任意に選択して解答してください。4 題を超えて解答した場合は、番号 1 以降の解答数が 4 に達したところで採点を終了し、4 を超えた分については採点しないので、注意してください。
- 2 解答は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は 1 時間 30 分です。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 5 問題は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

6題のうち4題を選択すること。

番号	問 題
1	<p>次の問（1）～（3）に答えよ。</p> <p>（1）内集団びいき（内集団バイアス）について説明せよ。</p> <p>（2）てんかんについて、症状及び治療方法を含めて説明せよ。</p> <p>（3）ストレンジ・シチュエーション法について、測定方法及びタイプの分類を含めて説明せよ。</p>
2	<p>PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）について、目的、対象、活動原則及び活動内容を含めて説明せよ。</p>
3	<p>動機づけについて、次の問（1）～（3）に答えよ。</p> <p>（1）動機づけ及びアンダーマイニング効果について、それぞれ説明せよ。</p> <p>（2）自己効力感について、提唱者名を含めて説明し、自己効力感を高めるために必要とされているものを述べよ。</p> <p>（3）マズローの欲求水準理論及びアルダーファーのERG理論についてそれぞれ説明し、これらの理論の相違点を述べよ。</p>
4	<p>発達障害について、次の問（1）、（2）に答えよ。</p> <p>（1）反抗挑戦性障害（反抗挑発症、ODD）について、定義と特徴を説明せよ。</p> <p>（2）TEACCHプログラムについて説明せよ。</p>
5	<p>心理アセスメントについて、次の問（1）～（3）に答えよ。</p> <p>（1）投影法について説明した上で、代表的な検査法を2種類挙げ、それぞれの考案者名と検査の内容を述べよ。</p> <p>（2）ケース・フォーミュレーションについて説明せよ。</p> <p>（3）MMPIについて説明せよ。</p>
6	<p>次の心理療法の中から5つを選び、その創始者又は代表的研究者を挙げた上で、その特徴をそれぞれ説明せよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神分析    ・認知療法                    ・合理情動療法（論理情動行動療法、論理療法）</li> <li>・行動療法    ・系統的脱感作法    ・クライエント中心療法（来談者中心療法）</li> <li>・遊戯療法</li> </ul>

